



町で北薩地区植樹祭 防森を育て心を育み、林業を守る

11月12日、令和6年度北薩地区植樹祭が町文化ホールとサンセットの丘で開催され、関係者約300人が参加。記念の代表植樹と一般植樹が行われました。



式典では、林業功労者の表彰や県学校林等活動コンクール表彰、県環境林務部工事コンクール表彰などが行われ、北薩地域森林・林業振興協議会会長の川添町長は「森林は、水を蓄え、土砂流出を防ぐほか、二酸化炭素を吸収し、脱炭素社会に向けて欠くことのできない多面的な機能を有している。本日の植樹祭を契機として、多様で健全な森林の育成や緑化の取り組みが一層進展することを祈念する」とあいさつし、蔵之元緑の少年団3人と青年林業士2人が「再造林や間伐などの森林整備を推進し、多様で健全な森林を未来へつなごう」などと、5つの植樹祭スローガンを朗読し、賛同する会場の拍手により採択されました。



その後、サンセットの丘に、代表植樹としてトキワマンサク22本と一般植樹としてニオイバナムツリ250本が植樹され、北薩地区の緑化に寄与しました。

平尾中学校芸術鑑賞会 楽しいヒップホップダンス

11月9日、平尾中学校（有馬賢一校長・33人）で芸術鑑賞会「日韓トップダンスー夢の共演『これがヒップホップダンス！』」の公演がありました。



プロダンサーによる各種ダンスを見学後、10月8日から事前ワークショップで練習していたリズムカルなダンスを全員で行い、会場は熱気に包まれました。
生徒を代表して宮瀬奈海さん（2年）が「実際に見て踊ってとても楽しかった。もっとヒップホップのことを知りたくなった」とお礼のあいさつを述べました。

宮ノ浦恵比寿祭 漁獲量向上と航海安全を祈願

11月30日、宮ノ浦港で海への感謝や安全・大漁を祈願する恵比寿祭が開催され、地元の関係者約50人が参加しました。

この日は、神事や漁船パレード、餅投げ、懇親会が行われ、同港はにぎわいを見せました。

宮ノ浦漁業会総代を務める平野良明さんは「祭りを通じて、漁獲量の向上と航海安全を恵比寿様に祈願し、近年の物価高騰や漁獲量低迷に負けないよう、みんなで力を合わせて行きたい」と話しました。

